

単位取得可能な講演一覧

日本リハビリテーション医学会および日本整形外科学会の単位は、一部の講演を除き現地参加のほか、2025年11月17日（月）から11月30日（日）までのオンデマンド配信でも取得可能です。下記表の※は現地でのみ単位を取得できます。

【10月23日（木）】

時間	会場	セッション名	セッションテーマ	演題名	演者	リハ単位	日整会単位
12:30~13:30	1	会長講演		リハビリテーション医学の明日に向かって	大田 哲生	○	
13:40~14:40	1	教育講演 1		脳卒中後遺症である上肢機能障害の改善に向けて	安保 雅博	○	13,Re
	3	教育講演 6		未来につなぐリハビリテーション医療のこころと人類の知恵 遺跡は語る 無差別平等と共生のこころ	岡本五十雄	○	
	6	教育講演 9		サルコペニア肥満の診断と対応戦略	永井多賀子	○	1,13,Re
	2	専門医共通講習会 1	医療倫理 (A)	臨床倫理の基本と実践	小口 和代	○	
13:40~15:10	9	基本診療レクチャー マラソン 1	高次脳機能障害	高次脳機能障害の基礎知識 高次脳機能障害の臨床における画像評価と神経心理検査	大沢 愛子 安彦かがり	○※	
	5	シンポジウム 1	がんリハビリテーションの最新のエビデンス	がんのリハビリテーション診療：最新の知見と今後の展望 乳がんのリハビリテーション治療の最新のエビデンス 血液腫瘍におけるリハビリテーション治療の最新のエビデンス 進行がん患者を対象としたリハビリテーション治療の最新のエビデンス	辻 哲也 村岡 香織 井上順一郎 宮田知恵子	○	
14:50~15:50	3	特別講演 2		筋萎縮性側索硬化症患者の在宅ケアにおけるコミュニケーション支援技術と多職種連携の実践	橋本 泰成	○	8,13,Re
	1	教育講演 2		リハビリテーション治療と予後予測につなげる嚥下機能評価	青柳陽一郎	○	
	2	教育講演 4		「新しい体と心で生きる」を支える脊髄損傷のリハビリテーション治療 -One for All, All for One-	松本ハーモン聡子	○	7,13,SS
	6	教育講演 10		患者教育から考える装具フォローの在り方と地域力の充実	勝谷 将史	○	13,Re
	9	基本診療レクチャー マラソン 2	動作解析	動作解析を用いた機能評価とリハビリテーション治療計画立案の実際 リハビリテーション医学における動作解析の基礎と臨床実践	吉田 太樹 和田 義敬	○	1,13,Re
15:20~16:20	5	教育講演 7		リハビリテーション医学・医療におけるトレッドミルの活用	向野 雅彦	○	1,13,Re
16:00~17:00	1	特別講演 1		一般健康診断の意義と対応	西條 泰明	○※	
	2	教育講演 5		医療統計-論文を読むために必要な知識を中心に-	村岡 香織	○	
	6	教育講演 11		地域リハビリテーションの現状と課題—開業医の視点から—	千葉 春子	○	13,Re
	3	指導医講習会 1		災害医療とリハビリテーション支援	近藤 国嗣	○	
16:30~17:30	9	基本診療レクチャー マラソン 3	ロボットリハビリテーション医療	ロボットによるリハビリテーション医療（下肢） ロボット技術で変わる上肢のリハビリテーション医療	村田 和樹 金内ゆみ子	○	13,Re
	5	教育講演 8		半側空間無視の病態生理とリハビリテーション治療	水野 勝広	○	
17:10~18:10	1	教育講演 3		高次脳機能障害の本質を見極め、社会復帰を支援する—診断書の記載を含めて—	石合 純夫	○	
	6	教育講演 12		都市部におけるリハビリテーション医療の変遷と展望	菅原 英和	○	13,Re

時間	会場	セッション名	セッションテーマ	演題名	演者	リハ単位	日整会単位
17:10~18:10	2	専門医共通講習会 2	医療制度と法律 (B)	我が国における今後の医療提供体制について	古元 重和	○	13,Re
	3	指導医講習会 2		急性期から回復期にかけてのリハビリテーション医療マネジメント	美津島 隆	○	
	9	基本診療レクチャー マラソン 4	DX	リハビリテーション医療の未来を見据えたデジタルトランスフォーメーション	川上 途行	○	
				医療における理学療法・作業療法のデジタルトランスフォーメーション—システムティックな取組と医療現場の現状—	金子 文成		

【10月24日 (金)】

時間	会場	セッション名	セッションテーマ	演題名	演者	リハ単位	日整会単位
8:30~9:30	1	教育講演 13		いま押さえておきたい高齢者医療・介護のポイント	生駒 一憲	○	13,Re 3,13,Re 2,13,S
	3	教育講演 17		リハビリテーション医学と地域創生への挑戦—アート・音楽・農	新藤 悠子	○	
	6	教育講演 22		小児疾患患者の姿勢ケア	土岐めぐみ	○	
	2	専門医共通講習会 3	医療安全 (A)	超高齢化社会の診療場面における安全管理	宮越 浩一	○	
	10	基本診療レクチャー マラソン 5	スポーツ外傷	スポーツ障害・外傷の診かた スポーツによる膝関節外傷の基礎と最新知見	鈴木 朱美 阿部 里見	○	
8:30~10:00	5	シンポジウム 3	高齢化するポリオ罹患 者への対応	ポリオとポストポリオ症候群—リハビリテーション科医が急性期・回復期・生活期で出会うとき—	沢田光思郎	○	
				加齢によるポリオ罹患者の障害像の変化と二次障害の概要	松嶋 康之		
				ポリオ罹患者にみられる二次障害とその診療上の留意点	戸田 美美		
				ポリオ罹患者の装具療法—加齢に伴う変遷と二次障害への対応—	蜂須賀明子		
9	日本リハビリテーション医学会パラスポーツ委員会セミナー企画	障害者へのスポーツ指導・関わり方セミナー	リハビリテーション診療におけるパラスポーツの意義 リハビリテーション診療におけるパラスポーツ導入時の留意点	緒方 徹 上出 杏里	○※		
9:40~10:40	1	特別講演 3		高次脳機能による姿勢と歩行の制御	高草木 薫	○	13,Re
	3	特別講演 5		リハビリテーション診療において遭遇しやすい皮膚疾患とその対応	藤田 靖幸	○	
	6	教育講演 23		がんのリハビリテーション診療	石川 愛子	○	
	2	専門医共通講習会 4	地域医療 (B)	都市部の在宅支援と介護予防を支える地域のしくみ	堀田富士子	○	
	10	基本診療レクチャー マラソン 6	嚥下障害	「のむ」「たべる」に携わる 摂食嚥下障害に対する相互乗り入れアプローチ—病棟との連携を中心に—	小西 正訓 西村 彰代	○	
10:20~11:50	5	シンポジウム 4	新たに策定された診療指針に基づく下肢切断のリハビリテーション診療のポイント	下肢切断における断端管理のポイント	菊地 尚久	○	
				義足の処方に関わる義足の理解 (パーツ選択のポイントも含めて)	田中 洋平		
				理学療法を中心としたリハビリテーション治療のポイント	河津 隆三		
				下肢切断生活期へ向けてのポイント	戸田 光紀		
9	シンポジウム 7	高次脳機能障害に対するリハビリテーション治療最前線	認知症治療とリハビリテーション治療	辻本 昌史	○		
			頭部外傷・脳血管障害後の高次脳機能障害がもたらす上肢機能障害	河村健太郎			
			神経疾患における認知機能障害とリハビリテーション治療	眞野 智生			
			高次脳機能障害に対する非侵襲脳刺激治療	小金丸聡子			

時間	会場	セッション名	セッションテーマ	演題名	演者	リハ単位	日整会単位
10:50~11:50	1	特別講演 4		地域包括ケアシステムとリハビリテーション医療	宇都宮 啓	○	13,Re
	3	教育講演 18		リハビリテーション治療のための歩行バイオメカニクス研究	長谷 公隆	○	1,13,Re
	6	教育講演 24		第56次日本南極地域観測隊の医療担当兼越冬隊長補佐だったリハビリテーション科医師が今語っておきたいこと	及川 欧	○	
	2	専門医共通講習会 5	感染対策 (A)	医療感染管理の実際:多職種が関与する現場での対応	藤谷 順子	○	
	10	基本診療レクチャー マラソン 7	小児	小児のリハビリテーション医療の視点~乳幼児からAYA世代までの小児がん診療を通して~ 乳幼児期の摂食嚥下リハビリテーション診療	上出 杏里 井口 陽子	○	
12:10~13:10	4	ランチョンセミナー 1		中枢性運動麻痺に対するロボットを用いたリハビリテーション治療の現状と手指の運動麻痺への新たな治療戦略	川上 途行	○※	13,Re ※
	5	ランチョンセミナー 2	ボツリヌス治療 up to date	若手医師をいかに育てるか?ボツリヌス毒素療法における育成の道標 痙縮とともに歩む:ボツリヌス療法を通じた医師育成の実践モデル	吉田健太郎 杉山みづき	○※	13,Re ※
	7	ランチョンセミナー 3		随意運動介助電気刺激の臨床的有用性と応用可能性	眞野 智生	○	13,Re
	10	ランチョンセミナー 4		回復期リハビリテーション病棟における漢方治療	角田 亘	○※	
13:30~14:30	1	教育講演 14		若手リハビリテーション科医師へのメッセージ	道免 和久	○	
	3	教育講演 19		肢体不自由の身体障害者手帳の書き方	横井 剛	○	13,Re
	6	教育講演 25		脳の可塑性と機能回復最前線	小金丸聡子	○	13,Re
	2	専門医共通講習会 6	医療経済 (B)	部門別原価管理会計システムを用いた経営改革	研谷 智	○	
	10	基本診療レクチャー マラソン 8	ポリオ	令和時代におけるポリオのリハビリテーション診療~ポリオから学ぶ後遺症の病態~ 令和時代におけるポリオの装具療法~後遺症と加齢へのアプローチ~	蜂須賀明子 尾崎 文	○	8,13,Re
13:30~15:00	5	シンポジウム 5	リハビリテーション領域におけるDXを利用したコミュニケーションの現状と課題	リハビリテーション病院へのチャット型多職種協働ツールの導入の現状と課題 AIと学ぶ臨床コーチング 機械学習・深層学習で拓くりハビリテーション医療DXの現状と課題	大串 幹 田丸 司 宮崎 裕大	○	
	1	文化講演 1		ワークライフバランスを意識して、持続可能な医療現場に	瀬地山 角	○	
	3	教育講演 20		回復期のリハビリテーション医療における「参加」につなげる院内システム	橋本 茂樹	○	13,Re
14:40~15:40	6	教育講演 26		膝関節スポーツ外傷・障害のリハビリテーション治療戦略:機能回復から競技復帰まで	木村 由佳	○	2,13,S
	2	専門医共通講習会 7	両立支援 (B)	医療機関における治療と仕事の両立支援	松嶋 康之	○	
	10	基本診療レクチャー マラソン 9	脊髄損傷	医工学融合研究チームによる脊髄損傷のリハビリテーション診療 脊髄損傷患者の基本診療~必要な知識のまとめ~	清水 如代 黒川真希子	○	7,13,Re
15:20~16:50	5	シンポジウム 6	これまでの常識を疑うことから新規リハビリテーション治療のシーズは見つかる	常識を疑うことから創出されたりハビリテーション治療 ICUにおける早期離床の発展 整形外科手術における術後リハビリテーション治療の進歩 神経疾患における運動訓練の発展	眞野 智生 幸田 剣 川口 謙一 山中 義崇	○	

時間	会場	セッション名	セッションテーマ	演題名	演者	リハ単位	日整会単位
15:50~16:50	2	教育講演 15		ボツリヌス療法～SMD (Spastic movement disorder) に対する治療戦略～	川手 信行	○	13,Re
	3	教育講演 21		デイケアの実践および課題について	新藤恵一郎	○	13,Re
	6	教育講演 27		脳卒中のリハビリテーション診療に必要な評価と予後予測の視点	内山 侑紀	○	13,Re
15:50~17:50	10	基本診療レクチャー マラソン 10	切断	下肢切断(義足)のリハビリテーション治療 —基礎編— 義手の基本とリハビリテーション診療：能動義手、筋電義手を中心に	田中 洋平 戸田 光紀	○	13,Re
	1	シンポジウム 2	リハビリテーション科医におけるジェンダーの壁とその解決策	医療の現場からジェンダーの壁に向き合って—私の歩みと次世代への願い リハビリテーション医学と女性医師の役割 中堅リハビリテーション科専門医がみる男女共同参画の現在 リハビリテーション科医のジェンダーギャップ：キャリアの壁を越え、未来を共創する	浅見 豊子 植木 美乃 蜂須賀明子 岩佐 沙弥	○	
17:00~18:00	2	教育講演 16		反復経頭蓋磁気刺激療法の中脳神経症状への臨床応用と課題	佐々木信幸	○	13,Re
	10	基本診療レクチャー マラソン 11	認知症	認知症総論 認知症診療の実際	田中 尚文 鈴木幹次郎	○※	
	4	イブニングセミナー 1		痙縮治療の目的、方法 (ITB 療法も含めて) について考える	松浦 慶太	○※	13,Re※

【10月25日(土)】

時間	会場	セッション名	セッションテーマ	演題名	演者	リハ単位	日整会単位
8:30~9:30	1	特別講演 6		心不全患者に対する運動療法の導入基準と実施上の留意点	永井 利幸	○	13,Re
	3	教育講演 32		ICF を応用した社会的行動障害への心理分析アプローチ	竹内 正人	○	
	6	教育講演 37		リハビリテーション医療における呼吸器診療～ICU から在宅まで～	笠井 史人	○	13,Re
	2	専門医共通講習会 8	災害医療 (C)	災害医療の現状と課題	光増 智	○	
	9	基本診療レクチャー マラソン 12	パラスポーツ	国際パラスポーツ大会への参加に向けて今からできる準備 今日からパラスポーツのサポーターになります	山田 陸雄 山口 朋子	○	2,13,S
8:30~10:00	5	シンポジウム 8	リハビリテーション医療～より良い連携のために～	リハビリテーション医療～より良い連携のために～理学療法士の立場から	白石 浩	○	
				リハビリテーション医療～より良い連携のために～作業療法士の立場から	小林 毅		
				「リハビリテーション医療～より良い連携のために～」言語聴覚士の立場から	内山 量史		
				リハビリテーション医療「よりよい連携のために」義肢装具士の立場から	野坂 利也		
9:40~10:40	1	教育講演 28		国際宇宙ステーション (ISS) 長期滞在の航空宇宙医学とリハビリテーション医学、そして今後の展望	速水 聡	○	13,Re
	2	教育講演 29		心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援	及川 欧	○	
	3	教育講演 33		機能回復の最大化を追求する：先端医療技術が拓くリハビリテーション医療の可能性	白坂 智英	○	13,Re
	6	教育講演 38		周期期のリハビリテーション診療～術前運動療法と術後早期離床～	梅本 安則	○	13,Re
	9	基本診療レクチャー マラソン 13	がん	明日から実践できる！がんのリハビリテーション診療 がんロコモ予防のための骨転移のリハビリテーション診療	土方奈奈子 福岡奈津子	○	13,Re

時間	会場	セッション名	セッションテーマ	演題名	演者	リハ単位	日整会単位
10:50~11:50	1	文化講演 2 (市民公開講座)		スポーツを通じての人間力の可能性	清水 宏保	○	
	3	教育講演 34		神経筋疾患における嚥下障害	飯田 有紀	○	
	6	教育講演 39		学際的緩和ケアにおけるリハビリテーション治療の役割	宮田知恵子	○	
	2	専門医共通講習会 9	医療福祉制度 (B)	障害福祉制度の理解：障害者総合支援法を中心に	栗林 環	○	
	9	基本診療レクチャー マラソン 14	神経疾患	神経疾患のリハビリテーション治療 ーパーキンソン病ー ALSのリハビリテーション診療：病期に応じたアプローチ	中馬 孝容 早乙女貴子	○	8.13,Re
12:10~13:10	4	ランチョンセミナー 5		これからの地域医療における痙縮治療の重要性	岡本 隆嗣	○※	13,Re ※
	7	ランチョンセミナー 6	TBIに併発する運動麻痺に新たな治療選択(再生医療等製品)とリハビリテーション	新たな治療の選択肢、再生医療等製品「バンデファイテムセル」とは？ 新たな再生医療等製品使用後のリハビリテーション治療の考え方	未永 潤 緒方 徹	○	
13:30~14:30	1	特別講演 7		外傷性脊髄損傷に対する再生医療：自家骨髄由来間葉系幹細胞治療の開発と臨床応用	森田 智慶	○	1.7,SS
	2	教育講演 30		脳卒中後の上肢機能障害に対するBMI/BCIを応用した運動訓練	牛場 潤一	○	13,Re
	3	教育講演 35		慢性期脊髄損傷治療における再生医療・リハビリテーション医療	田代 祥一	○	7.13,SS
	6	教育講演 40		急性期頸髄損傷における嚥下障害と呼吸障害	林 哲生	○	7.13,SS
	9	基本診療レクチャー マラソン 15	末梢神経障害	末梢神経障害：顔面神経麻痺のリハビリテーション治療 末梢神経障害の最新リハビリテーション治療	仲野 春樹 谷 真美	○※	
	10	基本診療レクチャー マラソン 16	電気生理	神経生理学的検査 (上肢) 電気生理 (下肢)	宮本 詩子 小林由紀子	○	8.13,Re
14:40~15:40	1	特別講演 8		視機能障害とリハビリテーション医療	石子 智士	○	
	2	教育講演 31		成長と発達を支える義手・義足と多職種連携で実現する子どもたちの社会参加支援	藤原 清香	○	13,Re
	3	教育講演 36		高齢心不全患者の心臓リハビリテーション	伊達 歩	○	